

令和4年度「ちちの日に牛乳を贈ろう！ キャンペーン」牛乳贈呈式を実施！！

熊本県発祥であり、今では全国的に各酪農関係者が推進している「ちちの日に牛乳を贈ろう！キャンペーン」。らくのうマザーズや熊本県酪農青壮年部・女性部協議会においても実施内容をマイナーチェンジし今年も活動しています！

キャンペーンの一環として、「父の日」である6月19日に先駆けて、6月6日に熊本県酪農女性部協議会の役員を中心に熊本県庁および九州農政局を訪問し、蒲島知事や宮崎農政局長へ牛乳を贈呈しました。感染症の影響により、3年ぶりの訪問となりましたが牛乳（阿蘇の雫）や阿蘇ミルク牧場のチーズを多くの関係各所の皆様へ振る舞ったことで、「おいしい！」というお言葉をいただき、牛乳の生産に携わる中でのやりがいを改めて感じる一時となりました。

皆さんもキャンペーンを機に大切な人達へ牛乳を贈り、「笑顔」をもらってみてはいかがでしょうか？（©2010熊本県くまモン）



～夏場の子牛の管理～

生産本部指導部営農指導課 久田眞規子

このたび、技術課より営農指導課に異動し、令和4年5月に復帰しました久田です。これから熊本県の生産者の皆様のために心機一転頑張りますので、よろしくをお願いします。

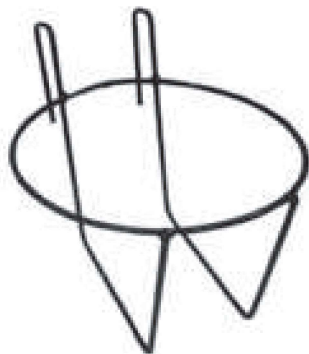
さて、新緑の美しい季節から、徐々に暑くなり、いよいよ夏が近づいてきました。皆様の暑熱対策や準備のほどはいかがでしょう？？搾乳牛や乾乳牛はもちろんのこと、子牛の暑熱対策は実施されていますか？？

今回は夏場の子牛の管理で大事な2つのポイントについてご紹介します。

①新鮮な飲み水を置きましょう！

哺乳子牛にとってミルクを飲ませているとはいえ、「食事」であり、飲み物ではありません。水を与えていない農家さんは、バケツなどに飲み水を入れて置いてみてはいかがでしょう？タイミングとして、哺乳をした1時間後（出来れば30分以上は空けてください）に、ぬるま湯を給与することをお勧めします。農家さんの中には、容器を置いたままにすると排せつ物が入り汚れるから嫌！と考えられる方もいらっしゃると思います。そんな方にお勧めしたいのが「バケツリング」です（写真1）。子牛を繋いで管理されていても、柱などにとりつけてバケツを「浮かす」ことができます。同じようにスターターにも「スタートボトル」（写真2）があり、これらを用いることで床に置きっぱなしにせずに給与できます。

写真1



②哺乳の濃度や温度は適正にしましょう！

高温多湿の夏は子牛の下痢が発生しやすい時期です。下痢の原因の多くが感染性由来のものです。中には哺乳管理の不注意から電解質異常による下痢もまれにあります。それはミルクの濃度を濃くしたり薄くしている場合です。濃く与えていた牧場では次々に子牛が脱水し、電解質異常を起こし死に至ったことがありました。子牛を早く大きくしたいという気持ちはあると思いますが、ミルクの吸収のためには規定の濃度を遵守していただきたい。また、ミルクの温度にも気を付けてください。給与時に40℃になるようにしましょう。ぬるいミルクを給与すると、ミルクの消化を行う第四胃で胃酸が十分に分泌されません。胃酸には口から入ってきた異物などを殺菌する作用もあります。つまり、ぬるいミルクを給与すると病原体が死滅せず、結果的に下痢などの感染症を引き起こすこととなります。夏場はミルクがぬるくなるケースは少ないですが、温度計でミルクの温度を測るなどの習慣を是非つけられて下さい。哺乳器具についても定期的に新しいものへ買い替えの検討をお願いします。

最後に、牛たちの体調管理はもちろんのことですが、生産者の皆様自身の体調管理もしっかり気を付けて、夏を乗り越えましょう！もし何かお困りごとなどありましたら、何なりと営農指導課までご連絡ください。

写真2



第二回熊本県ホルスタインショウ開催される

出品頭数 未経産牛 13頭、経産牛 8頭、出品者 11名及び2高校

去る、6月4日（土）益城町のJA熊本市畜産センターで、熊本県乳牛改良同志会主催による第二回熊本県ホルスタインショウが開催されました。

当日は、新型コロナウイルス対策として、入場者制限や当日持ち込み当日審査とするなど、規模を縮小した開催となりましたが初夏の好天に恵まれ、米野浩二同志会会長の『皆さんとこの日を迎えられることと関係各位に感謝したい。』との挨拶に続き、県内各地から21頭が出品され、熱戦が繰り広げられました。

今回の審査に（一社）日本ホルスタイン登録協会理事である松島喜一氏（熊本酪農協）が務められ、公正かつ厳格なジャッジのもと、第1部から

第10部の序列付けが行われました。

経産牛グランドチャンピオンに第9部出品の松島太一氏（熊本酪農支部）所有牛キーロックマンコントロール号、未経産牛ジュニアチャンピオンには第3部出品の竹内太輔氏（泗水支部）所有牛（申請中）が選ばれました。

また、最高位決定審査の際には、学生を対象としたグランドチャンピオン予想や松島審査員によるジャッジング講座が開かれるなど、大いに盛り上がった大会となりました。

グランドチャンピオンに松島太一氏（熊本酪農支部）所有牛 キーロックマンコントロール号
 リザーブチャンピオンに新永文治氏（熊本酪農支部）所有牛 グランデールモントレーディア号
 ジュニアチャンピオンに竹内太輔氏（泗水支部）所有牛（申請中）
 リザーブジュニアチャンピオンに松島太一氏（熊本酪農支部）所有牛 キー MWドッグブリス号



MOTHER'S



COLUMN —コラム—

「顧問就任にあたり」

私はこの4月から顧問を拝命いたしました。よろしく申し上げます。

令和4年3月まで熊本県庁に37年間奉職し、主に農業関係の業務に携わってまいりました。入庁当初は、ほ場整備や集出荷施設などのハード事業や、減反政策推進のための転作奨励金交付業務を担当しておりました。農業以外では、細川知事の時代には、「日本一づくり運動」が始まり、地域に眠る資源の掘り起こしや観光などの新たな魅力づくりを手伝わせていただきました。また、潮谷知事時代には、「バイオマスニッポン戦略」を推進するため、環境生活部で県基本方針を策定し、堆肥や廃食用油等の廃棄物を有効活用する実証研究等の支援も取り組みました。40歳を過ぎてからは畜産課に塩漬けされ、畜産関係業務に長らく携わりました。これらの経験を生かして、本会が推進する業務を下支えできるよう努めてまいります。

さて、私の県庁在職中で心に残る業務はたくさんありますが、1つは平成5年のガット・ウルグアイ・ラウンド農業合意で、大きな衝撃でした。この交渉の合意を受け、農林水産省は平成6年に21世紀を目指した農政の長期ビジョンとして「新しい食料・農業・農村政策の方向」を打ち出し、具体的に推進する方策として、経営感覚にすぐれた効率的、安定的な経営体が生産の大宗を担う力強い農業構造を実現するため「農業経営基盤強化法」、条件不利な中山間地域が多様で活力のある地域社会として発展するため「特定農山村法（略称）」を制定しました。

本県においても、これらの課題に的確に対応するため、平成6年度に農林水産部の組織改編が行われ、「農業経営基盤強化法」に基づく認定農業者を支援する経営体育成推進室と、「特定農山村法」に基づく農山村の住みよい生産・生活環境基盤を整備する新農業推進室が設置されました。

私はどちらも立ち上げ段階で配属されましたが、経営体育成推進室では、他産業並みの所得800万円を確保できる認定農業者の育成支援、農業法人設立相談会の開催、水稻、麦、大豆等の土地利用型作物の受託組織の育成など、多様な担い手の育成を担当しました。

この頃は、まだまだ、農業者数は減少傾向にあるものの、現役でがんばる農業者を支援し、効

率的な栽培が可能な生産基盤や豊かな生活環境を整えれば、日本の農業生産力は維持できるとの認識であったと

思います。特に、本県の場合、昭和35年度から始まった農業コンクールの受賞者で構成する熊本県農業経営同友会が活発に活動しており、会員相互の研鑽と交流会「夜なべ談義」が県内各地域で開催され、県職員も参加させていただき、地域の課題や将来のあるべき姿など、夜遅くまで語りあい自宅に泊めていただいたこともありました。

もう1つ在職中の思い出を上げますと、玉名地域振興局農業改良普及員として配属された時でした。玉名地域には畜産3団体がありましたが、相互連携した取組がありませんでしたので、市町村にも協力いただいて畜産まつり協議会を立ち上げ、河川敷で数百人規模のバーベキュー大会や畜産新技術勉強会を開催して交流を深めていきました。

また、玉名酪農業協同組合には、とても元気な参事の方がおられ、その方の依頼を受けてパソコン経営勉強会を開催しました。夫婦同伴を原則として開催しましたが、女性の方は基礎知識もあり、あっという間に習熟されましたが、男性の方はゲームに夢中になり、私は奥様方にお叱りを受けたことを懐かしく思います。

加えて、農林水産省が全国で3酪農家を選定するモデル事業にも取り組み、農協が牛舎を整備するリース事業でしたが、酪農家の方と夜遅くまで話し合っって作り上げた資料は、その後の畜舎等施設整備事業に役立ちました。

酪農情勢は、需給緩和により過去最高の脱脂粉乳在庫を抱える事態となり、国際情勢の悪化により飼料費を含む資材費の高騰、さらには、生産現場や酪農関係団体も労働力不足が顕著になるなど、様々な課題に直面しています。

本会では、酪農生産基盤の維持強化や酪農経営安定を図るため、消費者の理解醸成を図りながら、乳業団体とも協調して各種事業計画を推進する予定ですので、微力ながらお役に立てるよう努めてまいります。



らくのうマネージズ顧問
中村 秀朗氏